

夢の設計図

また、それを
実現してくれる人が
いないから。

やりたい仕事や実現したい夢
恐竜の復活
その仕事や夢を選んだ理由
小さいころから恐竜が好きで、
いつか復活させたいと、思っていたから。

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
顕微鏡や薬物などの研究道具の費用、それらの使用資格、
助手をやとうなら人件費、外国の研究者とわたり合うため
の外国語勉強料、博物館などからの化石購入、DNA採取費用など。

| 年齢 | 必要な能力を身につけるためにやること |
|-----|---|
| 12才 | 小学校 まだ小学生なので、恐竜の知識、名前などを、 図鑑などで調べたりする。 |
| 13才 | 中学校 そろそろDNAについて学ぶ。少しすると学校のほりでも 触れると思うので、そこでも勉強する。 |
| 15才 | 中学校 |
| 16才 | 高校 国内外で行なわれている研究を知る。 マンモス復活や、チキリサウルスプロジェクトなど? |
| 18才 | 高校 |
| 20才 | 大学 大学と書いたが、留学でもいい。 |
| 22才 | 大学 大学に行くなら、進化生物学部・分子生物部・ 古生物部・遺伝子工学部など。 |
| 24才 | 大学 |
| 30才 | 研究室に入るか、つくりたりして、クローン技術・再生 |
| 35才 | 医療技術を研究する。副業で外せぐ。 |
| ↓ | 鳥をいれたり、専用道具を買ったりする。(化石も) |
| 50才 | 恐竜復活! |

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
自分が将来つきたい副業 → 大学や研究機関の研究者
(アカデミア)、民間バイオ企業、
恐竜系のイベント・YouTuber など

恐竜を復活させる

大阪教育大学附属天王寺小学校 五年 前川 太志

「がああー」と猛獣の唸り声が聞こえる。正確に言えば、猛獣ではなく恐竜だ。場所とはいうと自宅。いま、映画「ジュラシック・ワールド」を目玉が飛び出さんばかりに凝視していた。世の中にはこんな生き物があるのか、恐ろしいと震えていた。しかしまた、自分は、この映画を本物だと信じ、疑っていなかった。

だが、この「恐竜がいると信じる期」も近所の子の発言によって消え去った。「恐竜はいつ復活するのかねー。」え、いないの？これは3歳年下の子の幼稚園児に教えてもらったことだ。かなり恥ずかかった。

それからというもの、自分の映画「ジュラシック・パーク」の見方が変わった。面白いとは思うけど、いや、他の映画とは比べものにならないほど面白いけれど、あの事実を知ってから、この映画は現実性をなくしてしまったように思っている。

現実とかけ離れていくジュラシック・ワールド。自分は考えた。どうしたらこの映画に再び現実味を帯びさせることができるのだろうか。その瞬間、あの時の近所の子の言葉が頭に蘇る。「恐竜を復活させる」このとき初めて自分はこの発想に至ったのである。できないだろ、と自分で毒づいたが、自分の夢なのだから、追うだけ追っかけてみようかと心の中で決めた。

その時から、自分は本格的に近づいた。ジュラシック・ワールドの設定は科学的にどうなのかも調べてみた。結果的には非現実だったものの、自分がそのジュラシックパークを作るんだという意気もこみあげてきた。

言っておきたいのは、これは自分の欲望だけでこれをしようと思ったのではないということだ。子どもたちに自分のように図鑑を眺めるだけではなく、ホンモ

ノを見てほしい。クローンだといえ生きてるは生きている。それを見て触ってこんな動物がいたんだということを知ってほしいのだ。

それだけではなく、食用の生物が絶滅すると生態系を崩してしまう可能性がある。その時に、恐竜を復活させる技術があるなら、その生物を復活させ、生態系を立て直すことができる。などなど、恐竜を復活させるというのは、生態系を立て直すこともできれば、人を楽しませることもできるのだ。未知の生物の力は素晴らしいと改めて実感した。

ノーベル賞発表を見ておいてほしい。いつか前川 太志という名が出るはずだ。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。